

令和5年度 恵那北小学校だより

8月20日号

# げんきたっ子



## あったかいことば

校長 市川 伸美

38日間の長い夏休みが終わりました。今年はプール開放もあり、多くの子供たちが参加して、にぎやかでした。その間に、泳力を伸ばせた子も多数いました。毎日成長し続ける姿に、私たち職員は“感動”の毎日でした。プール当番や送迎等のご協力をありがとうございました。

1学期に「あったかい言葉かけ県民運動」に参加しようと、全校児童と保護者に呼びかけたところ、たくさんの「あったかい言葉」が集まってきました。2点を紹介します。

友達が遅れてきた時、『遅れてごめんね』と言ったら、もう一人の友達が『大丈夫だよ』と言った。ぼくはそれを聞いて、「やさしいなあ」と思った。(1年生児童)

毎日、朝出かける時はバタバタしていて、時間との闘いです。そんな中で、「ママ行ってらっしゃい。お仕事がんばってね。」と声をかけてくれます。大人になると、そんな励ましの言葉をもらえる機会はなかなかありません。朝から、心がじわっと温かくなります。(3年生保護者)



友達の言葉を聞いて、「やさしいなあ」と気付くことができたのは、美しい心をもっているからです。朝の何気ない言葉は、相手を元気にしますね。

その他にも、「ありがとう」「おはよう」「大好き」「大丈夫?」「がんばって」「すごいね」「やさしいね」「おいしい」「やったね」「いいね」「ナイストライ」など、たくさんの言葉がありました。また、一つの言葉ではなく、「会話そのもの」「小さなハッピー」「笑顔」があったかい気持ちになるという声もありました。

私たちは常に人と関わって生きています。言葉によって傷つくこともあれば、救われることもあります。だからこそ、あったかい言葉をかけられる人でありたいと思うのです。そして、あったかい言葉が自然に飛び交う学校でありたいと思います。

2学期も、仲間の中で、家族の中で、地域の中で、人と関わりながら、多くのことに心を動かし、学んでいけるよう、指導していきます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 地域の皆様、ありがとうございました！～恵那北小グラウンドを草から守る大作戦～

久須見区地域づくり検討委員会で、本校のグラウンドの草取りを呼びかけていただき、8月12日と13日、朝5時半から草取りをしてくださいました。2日間で延べ100人を超える方が集まり、見違えるほどきれいになりました。笠置町からも応援に駆けつけてくださり、小学生や中学生も参加してくれました。子供たちは、運動に遊びに、元気いっぱい体を動かすことができそうです。

